

あさがわ 議会だよ!

No. 132

令和5年
6月定例会

令和5年8月発行

福島県浅川町議会



なっ満喫!

議員定数を2名削減	2
国保税は減税に	3
人事案件に同意	4・5
一般質問 9人が問う	6
ふるさと写真館	19
町民の声 (須藤和也さん・早織さんご夫妻)	20



議員定数は10人に

【質疑】

問 身を切る改革というなら議員報酬を削減する方法もあるのではないか。定数を減らせれば町民の声が届きにくくなり、女性や若者が

以前に町が行った町民アンケートで、「議員定数の削減」をあげた回答が46%を占めたことを真摯に受け止め、議員定数を12人から10人に改め、令和5年の一般選挙から適用するというもの。提出者は金成英起、会田哲男、兼子長一、木田治寛、岡部宗寿、富永勉の6議員。

6月定例会は6月8日から12日まで、会期5日間の日程で開催され、審議の結果、江田町長が提出した今年度の国保税を決定するための国保税条例改正案や一般会計補正予算案、農業委員や監査委員等の人事案件等20

削減の条例改正案を可決

立候補しにくくならぬか。
答 自分が対話した方は、全員が減らすべきだという考えだった。女性の登用は10人でも12人でも同じだと思う。定数を削減してその報酬分を少子化対策に充てるべきだ。

【討論】

― 反対討論 ―

上野議員 定数削減については十分議論して結論を出すべきだ。昨年8月から始まった我々の議会改革検討会では、定数削減ありきではなく、町民から信頼され、町民の役に立つ議会を

議案は、全て原案通り可決・承認しました。
議員から提出された議員定数削減の条例改正案は賛成多数で可決し、議員定数の維持を求める請願は賛成少数で不採択となりました。

つくるために議会改革に取り組もうとなつていたはずだ。
角田議員 今の議会は以前のように一度も発言しないというような議員はいない。その議会が、議会改革の議論をしつかりやろうとなつている途中で、定数を減らすという結論を出すべきではない。

― 賛成討論 ―

金成議員 議員定数削減という町民の思いを真摯に受け止め、将来を見据えた財政見直しや人口減少の推移、自治体の動向を踏まえて議員定数について対応

定数維持の請願は不採択

「議員定数の維持についての請願」は「浅川町の町政を考える会」代表曲山利一氏が提出。紹介議員は須藤浩二議員。

2名減らせば町民の声がますます届かなくなるので、12人の維持を求めるもの。

【質疑】

問 人口は15年間で1400人減っている。請願は、有権者は640人しか減っていないとしている。なぜ人口ではなく有権者数を問題にするのか。

答 政治に参加できる

有権者数こそ注視すべきだと考える。

【討論】

― 反対討論 ―

富永議員 人口減少、財政見直し、町民意向などを考慮した場合、定数削減は避けて通れない。

― 賛成討論 ―

上野議員 議員定数を削減すべきかどうかの議会自身の議論が尽くされていない。

【採決】

賛成4人反対7人で不採択となりました。

する責務があり、定数削減は避けて通れない。議員の多さがより多くの民意を反映するといふ考えを改めて自らの質を高め、議員が自らの身を切ることで議会

改革を進めるべきだ。

【採決】

賛成7人反対4人で可決しました。

国保税を 決定 決

1世帯あたり 13万3259円
1人あたり 9万3430円

基金を崩して減税！

答 約730万円程度と思われる。

問 後期高齢者支援金の最高限度額が引き上げられる。基本的に所得の多い人が多く負担すると思うが、該当する所得額は。

答 諸物価の値上がり等を考慮した、いい判断と思っている。

問 県への納付金が減つたのに、基金の取り崩しの500万円を維持した判断は。

答 コロナで受診控えとなり医療費が減額となったのが要因と思われる。

問 県への納付金が当初予算よりも減つた理由は。

【質疑】

今年度の国保税率を決定する国保税条例改正案は、国保基金から500万円を取り崩して1世帯当たり6005円、1人当たり419円減額とするものでした。



【採決】

全会一致で可決しました。

問 令和11年度に県の保険料水準が統一になるが、今後の被保険者数の増減についてシミュレーションをしているのか。

答 シミュレーションはしていない。

— 国保税本算定年度別対比表 —

区 分		令和4年度	令和5年度	前年対比
医療費分	1世帯当たり現年度課税額	77,364円	73,184円	▲4,180円
	1人当たり現年度課税額	48,619円	48,092円	▲527円
後期高齢者支援金分	1世帯当たり現年度課税額	32,054円	30,773円	▲1,281円
	1人当たり現年度課税額	20,144円	20,222円	78円
介護分	1世帯当たり現年度課税額	29,846円	29,302円	▲544円
	1人当たり現年度課税額	25,086円	25,116円	30円
合計	1世帯当たり現年度課税額	139,264円	133,259円	▲6,005円
	1人当たり現年度課税額	93,849円	93,430円	▲419円

人事

固定資産評価審査委員

住所
浅川町大字浅川字荒
町
氏名
松崎清次
生年月日
昭和20年8月



【採決】
全会一致で同意しました。

新農業委員 — 全会一致で同意 —

住所
浅川町大字里白石字
宿裏
氏名
富永勉
生年月日
昭和37年7月



住所
浅川町大字東大畑字
金田
氏名
白川清一
生年月日
昭和29年11月



住所
浅川町大字太田輪字
虚空蔵前
氏名
藤田保幸
生年月日
昭和32年2月



住所
浅川町大字大草字平
田
氏名
須藤孝夫
生年月日
昭和32年9月



住所
浅川町大字山白石字
西今田
氏名
須藤一二
生年月日
昭和29年3月



住所
浅川町大字中里字古
屋敷
氏名
高坂和幸
生年月日
昭和33年8月



住所
浅川町大字染字地獄
谷地
氏名
鈴木啓
生年月日
昭和35年1月



住所
浅川町大字滝輪字森
下
氏名
酒井秀忠
生年月日
昭和27年11月



住所
浅川町大字浅川字大
明塚
氏名
小針充則
生年月日
昭和30年2月



住所
浅川町大字養輪字坂
ノ前
氏名
兼子泰彦
生年月日
昭和34年5月





【採決】
全会一致で同意しました。

故小針藤助監査委員の後任となる監査委員。同氏は白河女子高を卒業し、旧石川町農協に入職。旧あぶくま石川農協浅川支店金融共済課長、石川支店金融次長、夢みなみ農協本店金融部資金業務課長を歴任。令和3年3月に定年退職。

氏名
岡部 まゆみ

住所
浅川町大字山白石字橋上沢

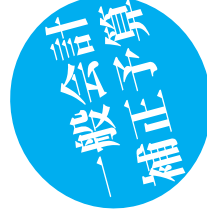
監査委員

■主な補正の項目 (単位：万円、千円未満切り捨て)

項目	補正額
新型コロナウイルス対応 地方創生臨時交付金	4,930
新規就農者育成補助金 (経営開始資金)	112
新規就農者確保補助金 (初期投資促進事業)	562

歳入

令和5年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ5601万円を増額し、総額を41億9378万円とするもの。歳出の主なものとしては、電気・ガス・食料品等価格高騰に対する緊急支援事業として、非課税世帯に1世帯3万円を520世帯に給付するための1610万円など。



【質疑】

問 商品券の発行事業の委託料で3500万円が計上された。町民1人5千円分の商品券を秋から年末にかけて交付するという事だが、お盆にお客様が来た時に使えるようにした方が、町民も喜ぶかと思うが何う。
答 商品券については、できるだけ早く皆さんの手に届くように作業を進めて行きたい。

歳出

項目	補正額
電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	1,560
商品券等発行事業委託料	3,500
新規就農者確保補助金 (初期投資促進事業)	562
新規就農者育成補助金	112
埋蔵文化財試掘調査委託料	64
指定文化財保存事業補助金	20

物価高騰対策で商品券 全町民に1人5千円分

問 新規就農者確保緊急対策事業補助金(初期投資促進事業)は、畜産の繁殖事業と聞いているが何う。
答 牛舎の建築に対する補助金で、就農の際の初期投資の補助金となる。限度額が750万円で、国から2分の1、県から4分の1、本人が4分の1の負担となっている。

【採決】

全会一致で可決しました。

■6月定例会採決一覧

全22議案中20議案は全会一致で可決しました

○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない

議案名	富永 勉	菅野 朝興	兼子 長一	会田 哲男	木田 治臺	岡部 宗寿	渡辺 幸雄	金成 英起	須藤 浩二	上野 信直	角田 勝	水野 秀一	議決結果 (賛成：反対)
議員の定数を定める条例の改正	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	—	可決(7：4)
議員定数の維持を求める請願	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	—	不採択(4：7)

9人の議員が質問

(通告順)

- 1 富永 勉 議員**
 - (1) 観光振興と地域活性化への実現について
 - (2) さらなる子育て支援の充実について
- 2 会田 哲男 議員**
 - (1) 3才未満児の保育料の無料化を早期に実施すべき
 - (2) さとふる等のサイト・アプリを活用し、ふるさと納税の更なるアピールを
 - (3) 大草風口前十字路（県道塙泉崎線）の見直し改善工事を強く要望すべき
- 3 岡部 宗寿 議員**
 - (1) 水郡線利用促進について
 - (2) 県道塙、泉崎線の道路拡張について
- 4 須藤 浩二 議員**
 - (1) 水郡線の利活用について
 - (2) 町道と防犯灯について
- 5 木田 治喜 議員**
 - (1) 防犯まちづくり推進（防犯カメラ・特殊詐欺対策電話機）及び事故発生防止について
 - (2) 町の「働き方改革」実態について
- 6 菅野 朝興 議員**
 - (1) 米農家が儲かる農業をする為の方策は
 - (2) 町内の観光名所を積極的にPRすべき
- 7 兼子 長一 議員**
 - (1) 介護職員の待遇改善を関係機関に求めるべき
 - (2) 吉田富三記念館の今後の運営体制について
- 8 上野 信直 議員**
 - (1) 保険証を廃止し問題続出のマイナカード保険証を強制することに對する認識を伺う
 - (2) ごみ出しが容易でない高齢者のために支援体制整備を
 - (3) 大地震の際の避難所の明確化と防災訓練を行う考えは
 - (4) 福島県統一保険料化で町の国保税が上がるのではないかと
 - (5) 町が補助金を交付している団体から町が補助金を受けていることはなにか
 - (6) 町長の退職金の算出方法と金額の妥当性について認識を伺う
- 9 角田 勝 議員**
 - (1) 町子ども園保育部の保育料を無料にして子育て支援を強めるべき
 - (2) 町奨学金制度を貸与から給付に改める改善について
 - (3) 広報「浅川」を活用して町民に役立つよう工夫して下さい
 - (4) 町文書配布のムダを省くことについて
 - (5) 農業を守る観点でトラクターなどの農機具が使われなくなった場合に町があっせん事業を
 - (6) 町行政区の統合などの改善について

町政を問う

一般質問は6月9日に行われ、通告した9議員が町長等の考えを質しました。傍聴者は3人でした。

※一般質問とは
定例議会において、各議員が住民の代表として行政全般にわたり町当局の考えや疑問をたずねることです。また議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

議会傍聴においでください

次の定例会は8月24日(木)～31日(金)までです
一般質問は25日(金)の予定です

観光振興による地域活性化への実現は



富永 勉議員

戦略的な対策で前進していきたい

問 当町には、歴史・文化・偉人などの誇れるものがある。地域資源を最大限に活用し、その強みを結び付けた施策の展開や拠点づくりによる観光振興は、地域の活力と潤いのある町づくりへつながると考え伺う。

①観光振興に向け増加させる交流人口・関係人口の現状と対策は。

②町民との協働により観光地域づくりを担う「観光物産協会」を設立する考えは。

③町の交流活性化のために、新たに交流都市を締結する考えは。

町長 ①交流人口は、浅川の花火、吉田富三記念館、即身仏等の観光目的で来町される方、ロードレース大会等に参加される方。関係人口は、在京浅川会、ふるさと納税の寄付者等である。対策は、町イベント、首都圏での物販イベント、移住・定住相談会のPR等で交流人口を戦略的に増加させたい。

②観光スポットの横のつながりは必要である。近隣町村を参考に、あり方について研究していく。今後期待していただきたい。

③文化交流や親善を目的に多様な関係とつながる。関係団体等の様々な意見を聞き、今後前進していきたい。



さらなる子育て支援の充実は

乳児期への支援で切れ目を埋める事業を検討する

問 当町は、子育て支援として様々な施策を展開し、子育てしやすい環境整備に向け取り組んでいるが、今般の深刻な物価高騰の影響により、特に乳児をかえる家庭の育児費用が増大している。支援対策について伺う。

①乳児のオムツ・粉ミルク・離乳食など育児用品の購入を助成する考えは。

②国の異次元の政策を踏まえ、今後、町は子育て支援にどのように取り組んでいくのか。

町長 ①0歳から2歳までの子育て期間において、紙オムツ、ミルク等の育児費用の経済的負担は大きく、町の子育て支援の切れ目にもなっている。他町村の事業を参考に財源を確保し、切れ目を埋める事業として検討する。

②国がどのような政策を実施するかを注視し、その切れ目を見つけ、町独自で、さらなる切れ目のない子育て支援の充実を検討してまいりたい。

大草風口前十字路の見通し改善 工事を県へ強く要望すべき

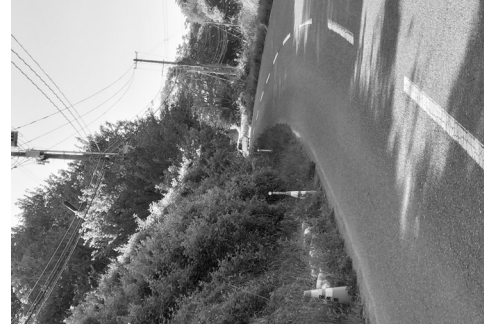
法面を削る改善必要、強く要望したい

問 現在の状況は、大きな木が茂り法面も崩れている。仁公儀方面からの直進・左折とも非常に見通しが悪く危険だ。いつ重大事故が起きてもおかしくない状況にある。解消のためには県道の樹木の伐採はもとより、抜本的に法面の工事が必要だ。法面工事を県に強く要望すべきだ。

- ①見通し改善のための県との協議結果は。
- ②危険力所の把握、改善への町の主体的、先見的、予防的な取組対応はどうしているか。



会田哲男議員



大草風口前十字路付近

町長 ①石川土木事務所に法面改善の相談をしており、当面は法面の樹木伐採と除草で見通しの確保を図ることだった。また町でも交差点付近の草刈りや、伐採をして管理している。根本的には法面を削ることが必要だが、地権者に相談して了解が得られたので、今後県へ強く協議・要望したい。

②道路パトロールの結果を踏まえた適正管理や町民からの意見、行政区からの要望を踏まえ、改善を図っている。また通学路合同点検により予防型の安全対策を実施している。

「さとふる」等のサイト、 アプリを活用しふるさと 納税の更なるアピールを

返礼品の魅力化とサイト数を 増やす方向で進めたい

問 町のふるさと納税は、ここ数年100万円から300万円での推移だ。ふるさと納税を増やすためには「さとふる」、「ふるなび」等の支援アプリを活用することが必要であり、その取組が必要だ。返礼品についても、9万円から30万円に飛ぶようなことでなく、もっと細かくする必要が有る。また農業者支援のためにも、米と野菜、

キュウリ・トマト等の野菜の組合せ等、更なる検討をしてはどうか。

町長 ふるさと納税は本町とゆかりのある方の寄付が主な状況であり、増やすためには返礼品の魅力化と支援サイトを増やすことが必要と考える。ふるさと納税のサイト数を増やす方向で進めたい。農産物の返礼品についても関係者と協議し、前向きに検討したい。

水郡線活性化対策協議会 に参加するのかが



岡部宗寿議員

会員なので当然参加する

問 全国の地方鉄道は人口減少に加えて新型コロナウイルスの感染拡大で利用客が落ち込み、多くの路線で赤字が続いて存続が危ぶまれている。国交省は今年2月、地方鉄道のあり方についての提言をまとめ、国が中心になり沿線自治体、鉄道事業者などで協議会を作るべきとしている。

- ① 少子化でますます乗客が減少しているが、町では何か対策はあるか。
- ② 以前町民号に乗って東京に行ったことがあったが、今後事業として考えるべきではないか。
- ③ 東北復興ツーリズム

促進ネットワークとか水郡線活性化対策協議会に参加するのかが伺う。

町長 ①このほどJR東日本が公表した「利用の少ない線区」に基づき、水郡線活性化対策協議会での議論も踏まえながら、町民の方々にいかに水郡線を利用していただくか、総務課と検討している。

②JR東日本と協議したい。コロナ禍も落ち着いたので関係機関と連携し、実現可能なものを検討したい。

③わが町も水郡線活性化対策協議会会員なので当然参加する。



県道埴泉崎線の拡張に ついての進捗は

引き続き要望活動を行う

問 令和2年12月議会でも質問したが、県道埴泉崎線の道路拡張について、大草地区のバイパスの件と滝輪地区の日渡橋の架け替えの件を伺う。昨年11月に町長はじめ建設課長らが県庁に陳情に行つたと思う。その後、郡山の県中建設事務所所長や企画調整課長と面談をした。こうしたの状況は怎么样了のか伺う。

町長 県道埴泉崎線の
大草地区バイパス化及

び滝輪地区日渡橋の橋梁新設については、令和3年11月2日に福島県と福島県議会に対し要望を行つた。その後、令和4年8月には、県中建設事務所に重点事項として要望を行つているが、残念ながら現在のところ、事業化されたという話は聞いていない。引き続き事業化に向け、粘り強く要望活動を行つてまいりたい。

水郡線の存続と活性化の 対策は

ワーキングチームを立ち上げる



須藤浩二議員

問 浅川町唯一の公共交通機関である水郡線の存続と活性化について伺う。

①現在高校生の通学補助を行っているが、水郡線を利用して通学している大学生や専門学校生にも、通学補助をすべきと思うが町の考えは。

②水郡線の利用促進を目的とする全町民対象の利用補助を作るべきと思うが町の考えは。

③今後水郡線の存続と利用促進をどのように取り組むか。

町長 ①現時点では考えていないが、大学生や専門学校生については大きな検討課題だと思っているので、ぜひ前進できるように頑張りたい。

②現時点では考えていないが、水郡線活性化対策協議会での議論や沿線自治体の取り組みを注視していく。

③高齢者や学生の移動手段としてなくてはならない存在なので、現在検討している。

総務課長 沿線11市町村で構成する福島県側の水郡線活性化対策協議会のワーキングチームをこれから立ち上げる。その中で若手職員がメインでいろいろ議論されることになる。



八天宮わきの県道

町道のオレンジポールは 再検討を

通行の安全を期待している

問 ①最近町道にオレンジ色のポールが何本も立っている。設置に至った経緯を伺いたい。

町民からは「突如として立ったポールがすごく邪魔だ」、「狭い道にも立ててもつと通りづらくしている」という声も出ている。再検討する余地はないのか。

②個人で宅地造成した住宅地にも、町で防犯灯を設置するべきではないか。地権者からは「私たちも町税を納めているのになぜ公平につけてもらえないのか」という声も出ている。

町長 ①設置理由は、車道幅員を狭く見せて車の速度の抑制を図り、自動車、歩行者の通行部分を分離することで通行の安全向上を期待しているものである。

建設水道課長 質問の箇所は県道かと思うが、県道であれば石川土木事務所に意見を伝える。

町長 ②町には従来、私道等には防犯灯の設置はしないという一定のルールがあったが、犯罪防止や完全確保の観点を踏まえながら、今後は私道等であっても設置を検討する方向で考えている。

防犯機器購入に補助する 考えは



木田治喜議員

今後の検討課題としたい

問 刑法犯の認知件数は減少を続けているとの報告があるが、子どもや女性が被害者となる犯罪は後を絶たず、高齢者を狙った特殊詐欺の被害は深刻な情勢が続いている。犯罪抑止力のある防犯カメラ等の防犯体制や通園バスによる園児置き去り事故を防ぐ町対応を伺う。

①当町の年間犯罪件数及び不審者情報の町民への発信方法は。

②企業・自治会・商店会・個人等の防犯機器購入や高齢者世帯が「特殊詐欺対策電話機等」を購入する際の補助は。

③園児送迎バスによる車内への置き忘れ事故対策の所在確認や安全装置の装備義務化に対する町対応は。

町長 ①刑法犯認知件数は、令和4年が11件、令和3年が9件、令和2年が11件となっている。不審者の情報提供があつた際には、町防災無線にて放送している。

②今後の検討課題としたい。

教育長 ③国土交通省より示されたガイドラインに基づき、設置の手続きを進めており、6月末までに幼稚部送迎バス2台に設置が完了する予定。所在の確認については、登園・降園ともに運転手、添乗員が名簿確認をしている。バス帰着後も、点検をしている。



問 働き方改革とは、全国民が活躍できる社会を実現するために「働く人々が、それぞれの事情に応じた多様な柔軟な働き方を自分

で選択できるようにする」という政策であり、官民の別無く労働者の健康や安全の確保を推進することが目的。率先して改革すべき町の対応を伺う。

①町職員の時間外勤務上限、年360時間を超える人数は。

②労働安全衛生法で定めている長時間勤務者に対する医師の面接指導の実績は。

③時間外認定時数と実質勤務時間との乖離は無いか。

④キッズウイークを導入検討の予定は。

で選択できるようにする」という政策であり、官民の別無く労働者の健康や安全の確保を推進することが目的。率先して改革すべき町の対応を伺う。

①町職員の時間外勤務上限、年360時間を超える人数は。

②労働安全衛生法で定めている長時間勤務者に対する医師の面接指導の実績は。

③時間外認定時数と実質勤務時間との乖離は無いか。

④キッズウイークを導入検討の予定は。

町長 ①4名の正規職員が該当している。

②現在は行われていないが、今後実施する予定。

③今年度には、極力ないように指示している。

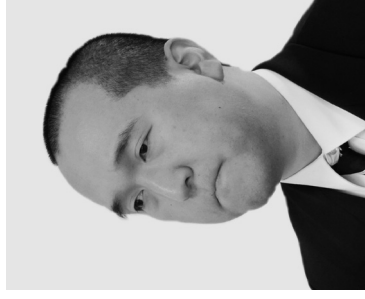
④例えば、夏休みの代わりに10月とか、別の月に休みを振り替えることは、可能だと思う。親子で参加する行事をやるとなると、家庭事情とかいろいろ問題もあるかと思う。課題を整理した上で検討したい。

残業時間の上限を超える職員はいるのか

4名の職員が該当している

米農家が儲かる農業を するための方策は

座談会などを開催したい



菅野朝興議員

問 以前、町長は、『儲かる農業』という事話をしていたが、具体的な方策はあるのか。何点か伺う。

①まず町内では、水田の水の供給に課題のある地区があるが、町はどのように考え対策はあるのか。

②後継者がおらず不安を抱えている農家もある。意見交換会などを開き、不安を和らげるべきでは。

③米を町内の学校施設や会社の食堂や、町外の会社や施設に納品できるのでは。

④これからの担い手に大規模経営の農場に視察研修をしてもらって

は。
⑤よく売れている、漢方資材米のネーミングの変更を提案してはどうか。

町長 ①町で造成したため池を管理しており、不具合があれば随時対応している。地域全体の要望があれば新たなため池造成などの相談に応じたい。

②令和4年度に農業経営基盤強化促進法が改正され、農地利用の将来像を描く地域計画の策定が市町村に求められている。各集落で農業者との座談会などを開催し、計画を策定したい。

③町内学校の給食には、地元の米を使用している。町外においては、各所に働きかけており、首都圏へもPRしている。

④昨年は、認定農業者の方たちと、茨城県の

施設を視察した。今後
も機会を設けたい。

⑤新たな名称、愛称をつける方向で協議をしている。

町内の観光名所を 積極的にPRすべき

城山、即身仏の看板は更新する

問 現在浅川町には、素晴らしい観光名所がある。しかし、まだまだ認知されずに埋もれてしまっている状態にあるかと思う。何点か伺う。

①名所への看板を増やすべき。例えば町内であれば、118号線沿いか、拡張して鯉川村の境や白河の境に誘導看板を設置してはどうか。小貫の即身仏、破石、あやめ園など。

②フォトコンテストが開催されるが、地域の

愛好会の方の協力を得た方が良いのでは。

③県南の周遊ツアーの一角として観光会社に売り込むべき。

④小貫の即身仏では、流行りの御朱印や、交通安全ステッカーなどを考案してはどうか。

町長 ①今年度は、城山及び即身仏の看板を更新する考えだが、設置場所は、ご意見を踏まえ効果的に設置したい。

②商工会、新聞社、愛

好会の方々のご意見を聞きながら開催したい。

③こおりやま広域圏事業として、地域体験ツアーが実施予定となっている。玉川村、石川町、浅川町を巡るコースも計画されている。外国からの観光については、観光看板作製の際にも検討したい。

④製造方法や販売方法等を保存会や商工会と相談しながら進めたい。

介護職員の待遇改善を 求めるべき



兼子長一議員

課題である 国に対して要望していく

問 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題が指摘されている。今後、介護が必要となる高齢者が急増する状況で介護職員の人手不足や業務が増加すると予想されることから伺う。

①介護職員の給与は業務に見合っていないと思うが石川福祉会や町社会福祉協議会職員の待遇の認識は。

②町長は国や県に介護職員の待遇改善を強く求めるべき。

③郡内の町村長と石川福祉会で運営などを協議する場はあるのか。

町長 ①石川福祉会や町社会福祉協議会職員にかぎらず、介護業界全体において、離職者が多く人材不足になっており、介護職員全体の賃金の底上げは必要と考えている。

②介護職員の処遇改善は全国的な課題であるので、国に対して賃金水準の底上げとなるよう石川地方5町村がまとまり要望していく。

③石川福祉会理事長が郡内町村長会議に出席し協議する場はあるが、重要案件があるときは、個別に協議している。

吉田富三記念館の今後の 運営は

地域間交流を深め、特別展 等を開催していく

問 吉田富三記念館は、ふるさと創生事業として平成5年10月に開館し博士の偉大な業績を紹介し、現在まで多くの方々が訪れ町の文化発展に寄与している。

財団法人吉田富三顕彰会の理事長である町長に伺う。

①今後の運営は新館長選任を含めどのような体制で進めるのか。

②記念館は地域間交流や地域資源の重要な施設であるがどのように生かすのか。

③教育の面でも重要な施設であるが新たな事

業を考えているか。

町長 ①新館長選任は、吉田富三顕彰会の理事や評議員により検討されるものと考えている。

②町にとって重要な観光資源であるとともに、地域間交流の施設ともなっている。

さらなる交流を深めるため各種団体と協力しながら特別展等を開催していきたい。

教育長 ③文部科学省は健康教育の一環として「がん教育」の推進を掲げている。記念館の見学と保健センター

職員や医療関係者の講話など健康教育を充実していく。



吉田富三記念館の展示室

高齢者のごみ出しに 対する支援制度を

有償ボランティアを検討している

問 高齢化の急速な進展、要支援・介護者の増加、高齢者の単身世帯の増加などから、浅川町でも今後、ごみ出しが容易でなくなる高齢者が増加することは間違いないと思われる。現に、一人暮らしの高齢者のごみを、玄関の外に出してあればごみ置き場まで持つていつてあげているという方もいる。また、「今でもごみ置き場までもつていくのは大変だ、もつと年を取ったらどうなるのか」と不安を訴える方もいる。困っている方全員に対応できるよう、町として支援体制を確立すべきではないか。



上野信直議員



町長 町内に家族等がいればその方々に行つていただくのが原則になる。近くに支援してくれる方がおらず、介護保険を申請するまでにはいかない方々に対し、ごみ出し支援をはじめ買い物代行、掃除などの支援に対し利用者が応分を負担し、支援者が報酬を得る「有償ボランティア」等の仕組みづくりは必要だと考える。昨年度から住民の意見を聞き、包括支援センターと社協とで今年度中の実施を目標に検討している。低所得者に対する配慮はしなければならず、今後検討したい。

町長の退職金の額と その妥当性は

適切に支給されている

問 町長の退職金については、いくら支払われたかなどは予算書には一切載らず、議会に報告されたことも一度もない。

①町長の退職金の算出方法を伺う。

②現在の計算方法で4年間町長を務めた人がいたら、もらえる退職金の額はいくらになるか。

③退職金の原資は何か。

④議員は、議員年金の特例が廃止され、退職金も一切ない。しかし

町長には、4年の任期満了ごとに多額の退職金が支給されている。一生勤めてもまともな退職金をもらえない町民が大勢いる中で、1期4年ごとに多額の退職金が支払われることについてどう思うか、認識を伺う。

⑤減らせる方法があったら減らす考えはあるか。

町長 ①福島県市町村総合事務組合の算定によるが、退職日の給料

月額に在職月数や支給率を乗じて算定する。

②この算定式にあてはめると1746万4320円になる。

③構成市町村が事務組合に払う負担金が原資となっている。

④事務組合の条例に基づいて適切に支給されていると認識している。

⑤現時点では減額は考えていない。

行政区の統合について 検討を



角田 勝議員

慎重に進めなければならぬ

問 町には26の行政区があるが、人口が多い区もあれば隣保班程度の人数や世帯になっているところもある。現在は若い人たちは共働きが多く、区長を決めるのに苦労している地区が多くなってきた。1人で2回も3回も区長をやらなければならない区もでている。行政を進めるうえでも大変になってきているのではないか。

区長の手当ても大きな差となり、区対抗のスポーツ大会への参加、行政の公平などを考えると、各区の歴史やつながりもあるので十分協議しながら行政区の

統合について検討すべきではないか。

町長 非常にテリケートな部分で、行政区によつては長年の懸案事項になっていると聞いている。現在26の行政区があるが、荒町行政区が一番多い約480世帯、一番少ない松野入行政区が14世帯と極端になっている。今後もし再編するならばどのようにするのが理想か、町が一方的に再編を押し進めるのはいかなものかと思つている。議員の言う通り地域のつながりや歴史を鑑みれば、慎重に事を進めなければならないと思つている。

保育料を無料にして 子育て支援の強化を

財政状況を踏まえ検討が必要

問 「子育てするなら浅川町で」といわれる町づくりを進めるべきと提言して久しい。古殿町では数年前に保育料を無料にし、県内では昨年12月の時点で59市町村中13自治体が無料になっている。わが町でも学校給食費の無料化や入学祝い金など支援を強めてきたが働く若い人々の負担を減らしていくことは重要な施策である。保育料の現状と無料化にいくら必要か伺つともにも早く無料にすることに

町長 保育料負担金は市町村民税の課税状況により、階層区分C1〜C4まで4500円から1万6000円の負担額になる。令和5年度からは2分の1から3分の1に負担を軽減した。令和4年度より約270万円の負担軽減を図つた。給食費の無料化などを含め、様々な子育て支援の充実を図つてきたところであるが、町の厳しい財政状況を踏まえると、無料化についてはさらに検討が必要と考えている。



あさかわ子ども園

議会改革検討会の報告

—— 町民に信頼される議会を目指して ——

議会報告会の実施の具体的方法については、近隣町村等の先進地視察を行い参考とします。定例会後に行政区へ出向いての実施を予定し

★議会や行政への関心を高めていただく事、町民の皆様からの要望や意見・提言を広く聞き、議会運営に反映させる事を目的として、議会報告会を実施していくことで決定しました。

議会広報広聴委員会 の設置（議会報告会の実施） について

◆第7回の検討会は4月11日に開かれ、以下の点について検討・協議しました。

子ども模擬議会の実施について

★行政や議会の仕組みを子どもたちに学んでいただき議会を理解していただく事、模擬議会における意見や提案を通して、未来ある町づくりに参加していただく事を目的に実施す

◆第8回の検討会は5月11日に開かれ、以下の点について検討協議しました。

ています。「議会モニターも必要ではないか」、「議会中継のネット配信を検討すべき」などの意見も出され、今後協議していく事になりました。

議会の状況をよく知ってもらい、町民の期待に応えられる議会とするために、全議員が参加する「議会改革検討会」の第7回・第8回を開きました。

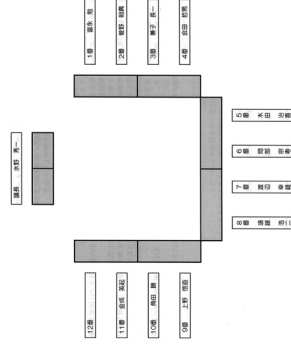
未来ある
町づくり
子どもたちの夢を
叶えてあげたい！

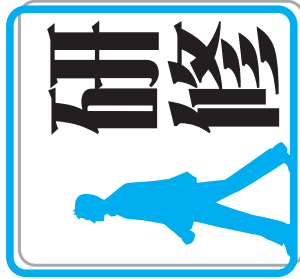


ることで決定しました。今後、開催に向け議会の総意を学校側に伝え、町・教育委員会・議会の三位一体で取り組んでまいります。「ふくしまSDGs推進プラットフォームへの参加」「議会BCP（業務継続計画）」については、引き続き協議することになりました。

議場の議席の変更

6月議会から議席の配置が変まりました。以前のコの字型に戻りました。





— 次期最終処分場は浅川町に建設 —

5・11

きらら クリーンセンター視察



きららクリーンセンター担当者の説明

令和5年5月11日（木）午前10時から、石川町のきららクリーンセンターの一般廃棄物最終処分場及び排水処理施設と粗大ごみ処理施設の視察研修をして来ました。この処分場は、令和13年の3月

で満杯となる予定で、次の処分場は、浅川町の番となります。議員は、施設内の職員に対し、処理水や漏水、安全性などについて活発に質問をし、施設内を視察しました。



処理施設の稼働状況



改修した空缶を圧縮

5・30

自治体DX推進 トックスマネジメントセミナー参加



令和5年5月30日（火）午後1時30分から福島テルサで、「楽しくみんなでつくるデジタル社会」と題した講演に参加しました。

株式会社うるら代表取締役会長田中淳一氏を講師に、住民も行政もDXを進めるための考え方や取組を研修しました。また、今話題の「チャットGPT」の体験を行いました。

※DXとは、デジタルトランスフォーメーションと読み、デジタル技術を社会に浸透させ生活をより良いものへと変革すること。

0～2歳児の保育料無料化を

令和4年12月定例会

答

県内59市町村のうち13市町村で無料化を実施している。近隣では中島村、平田村、古殿町で実施している。無料化は大変厳しいが、さらなる検討を進めたい。

問

0～2歳児の保育料は2分の1に軽減されているが、物価上昇、実質賃金低下の中、若い保護者の負担は容易でない状況だ。無料化の町村も増えている。子育て支援・定住・住みたい町づくりのために早期に無料化すべき。

令和3年12月定例会

答

今すぐの実施は難しいが町の財政状況を踏まえて検討したい。教育と福祉は後退することなく前進したいと思っているので、今のことは近い将来を考え、いい方向に進めたい。

問

現在の保育料は3歳児以上は無料だが0～2歳児は半額負担となっている。負担軽減による子育て支援、子育て環境充実を図り、安心して産み育てられる環境をつくり、若者世代の定着と転入・移住を促し町活性化につながるので保育料の無料化を実施すべき。



令和5年度より保育料が基準額の2分の1から、3分の1に軽減されました

古里 写真館

Vol.25

Photograph

交流のページ

— お願い —

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上で紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-1182



里白石小学校建設直前の旧里白石分校／写真の久保木さん提供



昭和30年頃の根岸地区の秋の水稲刈り／根岸 江田イミさん提供

町民の声



ヘーゼルナッツ栽培と
繁殖和牛で規模拡大

須藤和也さん
早織さんご夫妻

私は12月から新規就農支援を受けます。父がやっている繁殖和牛20頭、水稲1畝、飼料作物50畝を受け継ぎ、さらに新規導入作物として、ヘーゼルナッツの栽培を計画しています。ヘーゼルナッツはあまり馴染みがないナッツかもしれませんが、世界ではお菓子作りには欠かせない素材の一つで、アーモンドやカシューナッツと並んで「世界三大ナッツ」と言われています。ですが日本では販売されているヘーゼルナッツの95%がトルコ産の輸入品です。ヘーゼルナッツは実が堅い殻に覆われている事から鳥獣害に遭いにくく、基本的に無農薬、無消毒、無肥料で栽培に手間がかからない作物です。ですが、福島県内でも、まだ栽培している方がほとんどいないという



左から和也さん、早織さん、父の一二さん

事なので、手探り状態ですが、4年後に収穫できるのが今から楽しみです。農業は、天候に左右されたり、物価の上昇など、大変な事が多くあると思います

が、父がやってきた農業の規模を拡大し、安定した農業経営が出来るよう、自治体や地元の方の力を借りて、頑張っていきたいと思えます。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
広報委員になってから4年、この間議会だより第117号～第132号まで16回の編集に関わってきました。毎回内容について悩みながらも発行した時の達成感は格別でした。6月29日に議会議員全員で福島第一原発を視察してきました。改めて原発事故の悲惨と福島復興は道半ばであり、さらに処理水の海洋放出による風評被害が心配されると感じた視察研修でした。兼子 長一

広報特別委員会/上野 信直 渡辺 幸雄 会田 哲男 兼子 長一 菅野 朝興 雷 永 勉